

「先輩と後輩が一緒に成長」…下総みどり学園バレーボール部



下総みどり学園は小中一貫教育校です。部活動は5～9年生が一緒に活動するのが特徴です。それにより、小学生は早い段階で自主性や自分が目指す先輩像を学び、中学生は年の離れた小学生を含めた部員たちをまとめる経験を通して気配りを学ぶなど、お互いに成長することができます。

また、5年生から9年生までの約4年半の間部活動に取り組むことで、ほかの中学校よりも部活動に多くの時間を注ぐことができ、強豪校になることも期待されます。

下総みどり学園には10の部活動があります。バレーボール部は、6年生4人、7年生5人、8年生7人、9年生2人の計18人で練習しています。練習は、平日の朝と放課後、土・日曜日に行い、小学生は平日だけ練習に参加し、大会には出場しません。

練習メニューは小中学生一緒に、体操やアツプの後、ブロック、ランニングパス、スパイク、サーブ、フォーメーションの練習を行います。

顧問の先生が複数人いるときは、小学生と中学生に分かれて基本的な練習を行うこともあります。

今の課題は、レシーブミスや3球目をネットに引っ掛けるミスなど、もったいないミスを減らすことです。ミスを少なくし、点を積み重ね、夏の印旛郡市総合体育大会で3位以内に入ることを目標に、これからも頑張っていきます。



くどう まどか
工藤 麻登香部長(9年生)

5・6年生に積極的に声を掛けるようにしています。多くの学年をまとめることで、周りの状況を見られるようになったと思います。



ボールの下に入ってレシーブ



力強くスパイク

「陶芸の奥深さに夢中」

わたしたち「陶郷会」は、毎週土曜日に中郷公民館で陶芸を楽しんでいるサークルです。

粘土を成形して乾燥させた後、作品を壊れにくくし吸水性を高める素焼き、作品に光沢や色彩を与える釉薬を塗る施釉、仕上げとなる本焼きなどの工程を経て、食器や花瓶、置物などを完成させます。

最もわくわくするのが、本焼きが終わり作品を窯から出す瞬間。焼くと形が変わったり、想像していない色合いになったりすることがあるので、実際の仕上がりを目にする直前は、期待と不安が入り混じって感情が高ぶります。

例えば、自分では均等に色を付けたつもりでも、色むらが出てしまうことがあります。しかし、それが独特の味わい深さを醸し出して、お気に入りの作品になることがあるんです。失敗と思われるようなことも作品の味に感じられる



猫の置き物に絵付け



電動ろくろを使って形を整えます



自作の陶器と共に

陶郷会

ことがあり、それも陶芸の面白さの一つだと思います。

作品は主に自宅で使います。使っていると、形の使いにくさや色合いの物足りなさなどを感じる場合がありますが、その反省を次の作品に生かそうと繰り返し返すうちに、どんどん夢中になっていきます。

誰でも気軽に楽しみ、体験してみると、もっと極めたいと思える奥深さが陶芸にはあります。あなたも自分だけの作品を手にとってみませんか。



秋山 綾太郎くん(1歳)玉造

うなりくん大好き!!今日も「うなうな〜♪」って抱きしめています!



菊池 冬馬くん(1歳)はなのき台

好奇心旺盛で元気いっぱい!!たくさん笑って楽しく過ごしています。



篠崎 彩葉ちゃん(3歳)川栗

いつも笑顔で元気良く、そして健康に育って欲しいと願っています。

このコーナーには市内在住で満5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503